



平成 25 年 10 月 18 日

各 位

会社名 神 栄 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 小野 耕司
(コード番号 3004 東証1部)
問合せ先 経理・財務部長 長尾 謙一
(TEL. 078-392-6901)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 3 月期第 2 四半期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）の個別決算において特別損失を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 26 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想（平成 25 年 7 月 31 日公表）及び平成 26 年 3 月期通期の業績予想（平成 25 年 5 月 15 日公表）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 個別決算における特別損失の計上について

(1) 関係会社株式評価損

当社子会社である丸岡商事株式会社の財政状態及び経営成績を勘案した結果、当社が保有する関係会社株式に対し、関係会社株式評価損 263 百万円を特別損失として計上いたします。

(2) 関係会社貸倒引当金繰入額

当社子会社である神栄アグリフーズ株式会社の財政状態及び経営成績を勘案した結果、当該会社への貸付金に対する関係会社貸倒引当金繰入額 103 百万円を特別損失として計上いたします。

なお、この損失は連結決算上消去されるため、連結財務諸表に与える影響はありません。

2. 業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 22,500	百万円 150	百万円 50	百万円 150	円 銭 3.98
今回修正予想 (B)	21,159	112	20	267	7.11
増減額 (B-A)	△1,341	△38	△30	117	
増減率 (%)	△6.0	△25.3	△60.0	78.0	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	23,971	△183	△316	△191	△5.09

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	46,500	400	200	120	3.18
今回修正予想 (B)	44,500	400	200	300	7.96
増減額 (B-A)	△2,000	0	0	180	
増減率 (%)	△4.3	0.0	0.0	150.0	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	46,741	△263	△492	△760	△20.17

平成 26 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	80	190	5.04
今回修正予想 (B)	16,065	210	241	6.41
増減額 (B-A)	△935	130	51	
増減率 (%)	△5.5	162.5	26.8	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 3 月期第 2 四半期)	19,013	121	221	5.87

平成 26 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,000	170	120	3.18
今回修正予想 (B)	34,000	450	300	7.96
増減額 (B-A)	△1,000	280	180	
増減率 (%)	△2.9	164.7	150.0	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	36,188	631	△634	△16.84

修正の理由

(連結)

第 2 四半期連結累計期間につきましては、食品関連において円安による仕入コストの上昇分について価格転嫁を進めたことで収益面が改善し、また電子関連においても空気清浄機用ほこりセンサが好調でありましたが、繊維関連における小売事業の販売不振により経常利益は前回予想を下回る見込みであります。一方、投資有価証券の売却による特別利益の計上もあり、四半期純利益は前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、当期純利益について第 2 四半期連結累計期間の業績を踏まえ、前回予想を修正いたします。

(個別)

第2四半期累計期間につきましては、上記の特別損失の計上はあるものの、食品関連の収益が改善したことにより、また投資有価証券の売却による特別利益の計上もあり、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を上回る見込みであります。

なお、通期業績予想につきましては、引き続き食品関連の収益改善を見込み、前回予想を修正いたします。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上